

「巴会関西支部」だより（平成 21 年度活動報告）

平成 22 年 3 月

巴会関西支部長 M45 掛田健二

1. 平成 21 年度の「巴会関西支部 総会」

6 月 27 日(土)と 28(日)の一泊 2 日で、巴会本部ならびに工業会大阪支部からの来賓 2 名を含む総勢 26 名の参加を得て、吹田市内の「パナソニックリゾート大阪」に於いて開催された。総会に先立ち、門真市の本社工場の一角にある「松下幸之助記念館」を見学した。特別展「苦境を超えて：かつてない難局は、かつてない発展の基礎となる」「難局に処する心がまえ」が開催中で、先人の苦労が偲ばれた。見学後に上記会場へ移動し、平成 21 年度の総会を開催。支部活動報告、平成 20 年決算・21 年度予算案などを報告・承認され、無事終了した。入浴後に浴衣姿でくつろぎながらの懇親会。M30 長屋浩一氏の発声による「乾杯！」で始まり、散会後の宿泊まで大いに盛上がった。

翌日は、希望者が万博公園内「国立民族学博物館」を見学。なつかしの太陽の塔や、民博では許可されている展示物を手に触ったり座ったりの、貴重な体験をした。

2. 平成 21 年度の「名古屋工業会大阪支部 総会」

11 月 14 日に恒例の中央電気倶楽部にて開催された。今年の出席者は全体で 92 名(内、巴会 13 名)の参加者(昨年度は、全体 117 名、巴会 22 名)で少し寂しい総会。総会前の講演会は、東芝の江本隆氏(E47)による「台湾新幹線プロジェクトの概要と裏話」があり、欧米コンサルタントの管理能力に 1 日の長があることに驚いた。

工業会大阪支部は役員が若返り、大阪支部と単科会双方が開催する企業見学会・講演会・趣味の会の交流を深める方針を打ち出している。名工大技術士会も立ち上げ、技術面も含む会員へのサービスの向上を図る予定で、会員の積極的な参加を歓迎している。

3. 平成 22 年の巴会関西支部「新年(懇話)会」

1 月 24 日(土)、巴会関西支部の新年(懇話)会が 20 名の参加者を得て、生駒山麓の東大阪市内の石切温泉「ホテルセイリュウ」で開催した。昼前から温泉や露天風呂で身体と心を暖めた後、青木昭二氏(M22)から「最長老の思い出」と題して、少年時代、名古屋高等工業、そして高校教師時代の貴重な体験談を熱を込めて紹介され、出席者全員が興味深く伺った。約 2 時間、軽くお酒も交えながら賑やかな昼食会後、石切神社に遅い初詣をした。

今年で 3 回目の本会は不足費用を巴会関西支部から補助しており、来年以降も京阪神奈地区の温泉地で先輩の話聞く昼食会の開催を予定している。

今年のゴルフ会は計画倒れになり、同好の士のみで実施した。

4. 平成 22 年度の活動予定

平成 22 年度の「巴会関西支部 総会」は 6 月 26 日(土)京都工芸を見学後に鴨川の床料理(舞妓さん付き)と女将の話を楽しむ予定。ゴルフ会も計画中。工業会大阪支部と単科会も多数の企画を立てており、5 月 23 日には奈良支部が平城京遷都 1300 年に合わせた歴史探訪会と前東大寺長老の講話を企画している。詳細は名工大-名古屋工業会大阪支部のホームページからアクセスできます。会員各位は気楽に各種活動に参加され、同窓会も企画実施されることを歓迎します。

(終)